

教科名	数学	科目名	数学Ⅱ	履修学年	中学・高校	1年	1	組	
単位数	4	使用教科書 補助教材等	NEXT数学Ⅱ, NEXT数学B						
担当者	林		CONNECT数学Ⅱ+B						
学習目標	数学Ⅱ「図形と方程式」「三角関数」「指数関数と対数関数」「微分法と積分法」の基本事項を身につけ、次年度数学ⅢCを学習する体力をつける。また、数学の解答の書き方を学び、答えにたどり着く過程をしっかりと記述できるようにする。適宜、昨年度の数学ⅠAの復習を取り入れ、校内模試に備える。								
評価方法									
評価観点	知識・技能		思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む姿勢			
評価規準	教科書の定義、定理、公式を理解し、それを活用して問題が解けるか。		論理的に記述をすることができるか 定理などを活用するだけでは解けない問題に取り組むことができるか。			普段の学習態度などが整っていて、学習内容の定着が測れているか 自分の弱点などを把握し、それを克服するように努力をしているか。			
各観点の授業内 評価方法等	主に定期考査、到達度確認テストの得点から算出する。また、普段からの小テストなども考慮する。		主に定期考査、到達度確認テストの得点から算出する。また、普段からの小テストなども考慮する。			問題集のノート提出、プリントの課題や振り返りなどから評価する。			
学期末の 各観点比率(%)	約50%		約30%			約20%			
授業計画									
学期	月	学習内容・学習単元・学習到達目標等					時間数	評価区分1	評価区分2
1	4	【数学Ⅱ】第3章 図形と方程式 第1節 点と直線 第2節 円					15	1 学期 中間 考査	
	5	第3節 軌跡と領域							
	6	【数学Ⅱ】第4章 三角関数 第1節 三角関数					18	1 学期 期末 考査	
	7	第2節 加法定理 6. 加法定理							
	8	7. 加法定理の応用							
2	9	【数学Ⅱ】第5章 指数関数と対数関数 第1節 指数関数 第2節 対数関数					18	2 学期 中間 考査	第1 回 到達 度 確 認 テ ス ト
	10	3. 対数とその性質 4. 対数関数 5. 常用対数							
	11	【数学Ⅱ】第6章 微分法と積分法 第1節 微分係数と導関数 第2節 関数の値の変化 第3節 積分法					22	2 学期 期末 考査	
	12								
3	1	【数学B】第2章 統計的な推測					20	学 年 末 考 査	第2 回 到達 度 確 認 テ ス ト
	2								
	3								

教科名	数学	科目名	数学Ⅱ	履修学年	中学・ 高校	1 年	2, 3, 4	組		
単位数	4 単位	使用教科書 補助教材等	教科書: 数研出版 NEXT数学Ⅱ、NEXT数学B 問題集: 数研出版 CONNECT数学Ⅱ+B							
担当者	高橋, 府川, 竹田									
学習目標	数学Ⅱ「図形と方程式」「三角関数」「指数関数と対数関数」「微分法と積分法」の基本事項を身につけ、次年度数学ⅢCを学習する体力をつける。また、数学の解答の書き方を学び、答えにたどり着く過程をしっかりと記述できるようにする。 適宜、昨年度の数学ⅠAの復習を取り入れ、校内模試に備える。									
評価方法										
評価観点	知識・技能		思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む姿勢				
評価規準	・教科書の定義・定理・公式を理解し、それらを活用して問題が解けるか。		・公式をそのまま利用するだけでは解けないような問題に果敢に挑戦できるか。 ・途中過程などを含めて、数学の答えを記述できているか。			・自宅学習にしっかりと取り組み、学習内容の定着を図れているか。 ・自分の課題などを把握し、どのように改善していくかを自分で考えられるか。				
各観点の授業内 評価方法等	主に定期考査の得点で評価する。2, 3 学期は到達度確認テストの得点も考慮する。また、小テストへの取り組みも考慮する。					主に問題集ノート提出やプリント課題の提出によって評価する。				
学期末の 各観点比率(%)	約80%					約20%				
授業計画										
学期	月	学習内容・学習単元・学習到達目標等						時間数	評価区分1	評価区分2
1	4	【数学Ⅱ】第3章 図形と方程式 第1節 点と直線 第2節 円						15	1 学期 中間 考査	
	5	第3節 軌跡と領域								
	6	【数学Ⅱ】第4章 三角関数 第1節 三角関数						18	1 学期 期末 考査	
	7	第2節 加法定理 6. 加法定理								
	8	7. 加法定理の応用								
2	9	【数学Ⅱ】第5章 指数関数と対数関数 第1節 指数関数 第2節 対数関数						18	2 学期 中間 考査	第1 回 到達 度 確 認 テ ス ト
	10	3. 対数とその性質 4. 対数関数 5. 常用対数								
	11	【数学Ⅱ】第6章 微分法と積分法 第1節 微分係数と導関数 第2節 関数の値の変化 第3節 積分法						22	2 学期 期末 考査	
	12									
3	1	【数学B】第2章 統計的な推測						20	学 年 末 考 査	第2 回 到達 度 確 認 テ ス ト
	2									
	3									

教科名	数学	科目名	数学B	履修学年	中学・ 高校	1年	1	組		
単位数	2単位	使用教科書 補助教材等	教科書： 数研出版 NEXT数学II, NEXT数学B 問題集： 数研出版 CONNECT数学II+B							
担当者	高橋									
学習目標	数学II「式と証明」「複素数と方程式」、数学B「数列」の基本事項を身につけ、次年度数学III Cを学習する体力をつける。 数学の解答の書き方を学び、答えにたどり着く過程をしっかりと記述できるようにする。 適宜、昨年度の数学IAの復習を取り入れ、校内模試に備える。									
評価方法										
評価観点	知識・技能		思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む姿勢				
評価規準	・教科書の定義・定理・公式を理解し、それらを活用して問題が解けるか。		・公式をそのまま利用するだけでは解けないような問題に果敢に挑戦できるか。 ・途中過程などを含めて、数学の答えを記述できているか。			・自宅学習にしっかりと取り組み、学習内容の定着を図れているか。 ・自分の課題などを把握し、どのように改善していくかを自分で考えられるか。				
各観点の授業内 評価方法等	主に定期考査の得点で評価する。2, 3学期は到達度確認テストの得点も考慮する。また、小テストへの取り組みも考慮する。					主に問題集ノート提出やプリント課題の提出によって評価する。				
学期末の 各観点比率(%)	約80%					約20%				
授業計画										
学期	月	学習内容・学習単元・学習到達目標等						時間数	評価区分1	評価区分2
1	4	【数学II】第1章 式と証明 第1節 式の計算						9	1 学期 中間 考査	
	5	第2節 等式・不等式の証明								
	6	【数学II】第2章 複素数と方程式 第1節 複素数と2次方程式の解 1. 複素数とその計算						9	1 学期 期末 考査	
	7	2. 2次方程式の解								
	8	3. 解と係数の関係 第2節 高次方程式						10	2 学期 中間 考査	
2	10	【数学B】第1章 数列 第1節 等差数列と等比数列 第2節 いろいろな数列 6. 和の記号Σ								11
	11	7. 階差数列								
	12	8. いろいろな数列の和 第3節 漸化式と数学的帰納法						11	学 年 末 考 査	第 2 回 到 達 度 確 認 テ ス ト
3	1									
	2									
	3									

教科名	数学	科目名	数学B	履修学年	中学・ 高校	1 年	2,3,4	組		
単位数	2 単位	使用教科書 補助教材等	教科書: 数研出版 NEXT数学II, NEXT数学B 問題集: 数研出版 CONNECT数学II+B							
担当者	永野									
学習目標	数学II「式と証明」「複素数と方程式」、数学B「数列」の基本事項を身につけ、基礎計算力をつける。 数学の解答の書き方を学び、答えにたどり着く過程をしっかりと記述できるようにする。 適宜、昨年度の数学IAの復習を取り入れ、校内模試に備える。									
評価方法										
評価観点	知識・技能		思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む姿勢				
評価規準	・教科書の定義・定理・公式を理解し、それらを活用して問題が解けるか。		・公式をそのまま利用するだけでは解けないような問題に果敢に挑戦できるか。 ・途中過程などを含めて、数学の答えを記述できているか。			・自宅学習にしっかりと取り組み、学習内容の定着を図れているか。 ・自分の課題などを把握し、どのように改善していくかを自分で考えられるか。				
各観点の授業内 評価方法等	主に定期考査の得点で評価する。2, 3 学期は到達度確認テストの得点も考慮する。また、数I+Aの復習計算プリントの中から2割程度、定期試験に出題する。					主にプリント課題、問題集ノートの提出によって評価する。				
学期末の 各観点比率(%)	約80%					約20%				
授業計画										
学期	月	学習内容・学習単元・学習到達目標等						時間数	評価区分1	評価区分2
1	4	【数学II】第1章 式と証明 第1節 式の計算						9	1 学期 中間 考査	
	5	第2節 等式・不等式の証明								
	6	【数学II】第2章 複素数と方程式 第1節 複素数と2次方程式の解 1. 複素数とその計算						10	1 学期 期末 考査	
	7	2. 2次方程式の解								
	8	3. 解と係数の関係 第2節 高次方程式								
2	9	【数学B】第1章 数列 第1節 等差数列と等比数列 第2節 いろいろな数列 6. 和の記号Σ						10	2 学期 中間 考査	第1回 到達 度 確 認 テ ス ト
	10	7. 階差数列								
	11	8. いろいろな数列の和 第3節 漸化式と数学的帰納法						11	2 学期 期末 考査	
12							2			
3	1							12	学 年 末 考 査	第2回 到達 度 確 認 テ ス ト
	2									
	3									

教科名	数学	科目名	数学 I	履修学年	中学・高校	1年	5	6	7	組
単位数	4	使用教科書 補助教材等	NEXT数学 I, NEXT数学 II							
担当者	林		CONNECT数学 I+A, CONNECT II+B							
学習目標	数学 I の「数と式」「2次関数」「三角比」などの知識を身に付け、それが日常でどう活かされているかを学ぶ。 また、計算ができるようになるだけでなく、論理的に解法を記入する力を身に付けることで論理的思考力と表現力を養う。									
評価方法										
評価観点	知識・技能			思考・判断・表現			主体的に学習に取り組む姿勢			
評価規準	教科書の定義、定理、公式を理解し、それを活用して問題が解けるか。			論理的に記述をすることができるか 定理などを活用するだけでは解けない問題に取り組むことができるか			普段の学習態度などが整っていて、学習内容の定着が測れているか 自分の弱点などを把握し、それを克服するように努力をしているか			
各観点の授業内 評価方法等	主に定期考査、到達度確認テストの得点から算出する。また、普段からの小テストなども考慮する。			主に定期考査、到達度確認テストの得点から算出する。また、普段からの小テストなども考慮する。			問題集のノート提出、プリントの課題や振り返りなどから評価する。			
学期末の 各観点比率(%)	約50%			約30%			約20%			
授業計画										
学期	月	学習内容・学習単元・学習到達目標等						時間 数	評価 区分 1	評価 区分 2
1	4	【数学 I】第1章 数と式 第1節 式の計算 第2節 実数 第3節 1次不等式						15	1 学期 中間 考査	
	5	第3章 2次関数								
	6	第1節 二次関数とグラフ 第2節 二次関数の値と変化						18	1 学期 期末 考査	
	7	第3節 2次方程式と2次不等式 5. 2次方程式								
	8	【夏期講習会】第5章 データの分析								
2	9	第3章 2次関数 第3節 2次方程式と2次不等式 6. 2次関数のグラフとx軸の位置関係 7. 2次不等式						18	2 学期 中間 考査	第1 回 到達 度 確 認 テ ス ト
	10	第4章 三角比 第1節 三角比 第2節 三角形への応用								
	11	【数学 II】第1章 式と証明 第1節 式と計算						22	2 学期 期末 考査	
	12	第2節 等式・不等式の証明								
3	1	第2章 複素数と方程式						20	学 年 末 考 査	第2 回 到達 度 確 認 テ ス ト
	2	第1節 複素数と2次方程式の解 第2節 高次方程式								
	3									

